

## ■第36回「測量の日」記念講演会のご紹介

人口約5000人の小さな町、徳島県名西郡神山町。様々な地方創生の取り組みを展開し、小学校の教科書でも紹介される神山町で、何が起こり続けているのか。

今回の講演会では、その活動の中心人物、大南信也氏が登壇します。

大南氏は、道路清掃プログラム、アートプログラム、移住促進プログラム、サテライトオフィス誘致など、周囲を巻き込みながら活動の枠を広げ続けています。

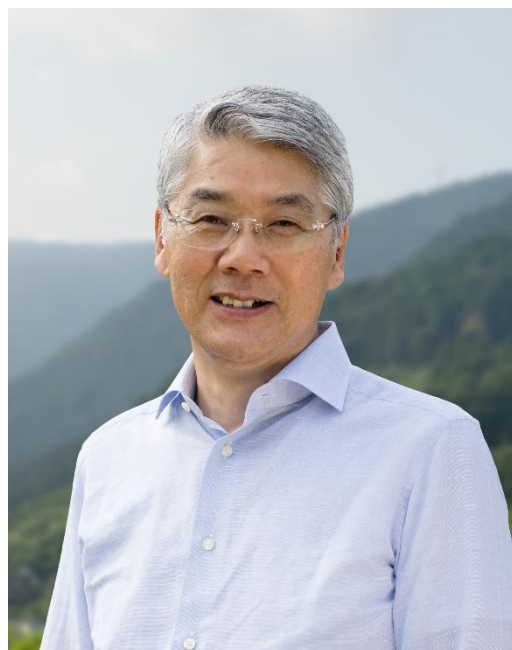
神山町で最初にサテライトオフィスを設置した Sansan の寺田親弘社長の発案を受けて、国内では20年ぶりとなる高専（神山まると高専）の設立に精力的な活動を展開し、2023年4月、神山まると高専は開校しました。

周囲で発生する様々な事象を拾い上げ、組み立て、地方創生の新たな仕組みを構築し続けている大南氏に、偶発をいかにデザインし、神山町が進化し続けているかをご講演いただきます。

## ■大南信也（おおみなみ しんや）氏プロフィール

1953年徳島県神山町生まれ。米国スタンフォード大学院修了。帰郷後、仲間とともに「住民主導のまちづくり」を実践しながら、1996年頃より「国際芸術家村づくり」に着手。全国初となる住民主体の道路清掃活動「アドプト・プログラム」の実施（1998年～）や、「神山アーティスト・イン・レジデンス」（1999年～）などのアートプロジェクトを相次いで始動。2004年に「日本の田舎をステキに変える！」をミッションとするNPO法人グリーンバレー設立。理事長を務める。

町営施設の指定管理事業や、町移住交流支援センターの受託運営、ITベンチャー企業のサテライトオフィス誘致など活動の幅を広げながら神山のまちづくりを進める。神山まると高専設立準備財団では代表理事を務めた。現在はグリーンバレー理事。



日経BP総合研究所「新・公民連携最前線」より抜粋、一部時点修正